

Recruitment Guidance

看護職員募集案内

思いやりのある
看護を
提供します



独立行政法人 国立病院機構

姫路医療センター

病院理念

思いやりのある最善の医療を提供し、患者さんと地域、社会に貢献します。

病院の特徴

姫路医療センターは兵庫県中・西播磨医療圏の基幹病院で、地域の医療を支えている病院です。肺がんを主に様々な部位のがん診療、がん看護を担っている地域がん診療連携拠点病院であり、呼吸器センター、消化器センター、高精度放射線治療センター、緩和ケアセンターを有しています。各診療科が安全で、確実で、低侵襲の治療の提供を目指しており、患者さん・ご家族の意向を尊重したその人らしい看護の提供に努めています。特に、病気を抱えながら生活する患者さんの療養の場について、地域との強力な連携を図りチーム医療を積極的に行っています。また、地域の救急医療にも積極的に貢献しており、DMAT活動等多くの経験を積んできています。

病院概要

病床数 405 床 (ICU6 床、HCU6 床)
標榜診療科目 29 診療科 (内科、【精神科】、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、【婦人科】、【小児科】、眼科、耳鼻いんこう科、リウマチ科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、糖尿病・内分泌内科、頭頸部外科、緩和ケア内科、病理診断科)
【 】は休診中



看護部理念

私達は看護を必要とする人の尊厳及び権利を尊重し、専門知識、技術と **思いやりをこめた看護** が提供できるよう最善の努力をします。

看護部目標

- 1 倫理観に基づいた質の高い看護サービスの提供に努める
- 2 ケアの質と効率性との調和を図り、経営に参画する
- 3 互いに承認しあえる働きやすい環境を整備する
- 4 共に学びキャリア形成できる環境を整備する



看護部長
宮地 由紀子

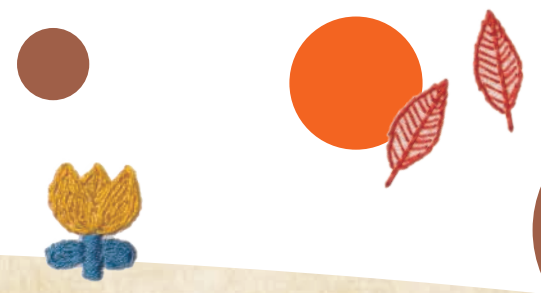
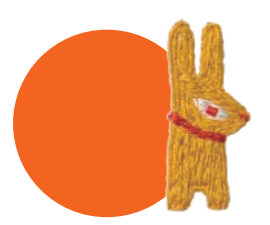
看護部長メッセージ

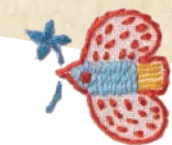
姫路医療センターは、地域の中核病院として高度な医療を提供しています。地域がん診療連携拠点病院として、患者さんの身体にやさしい低侵襲治療を中心に、在宅や地域とのつながりを大切にしながら、急性期・回復期、そして緩和ケアと幅広い看護を提供しています。

看護部の理念に込められた「思いやり」は、看護を必要とする患者さんと家族にむけられると同時に、病院職員同士の思いやり、そして、自分への思いやりという意味が込められています。姫路医療センターは組織として、ひとり一人を大切にする人材育成に取り組み、看護を通して共に成長し、やりがいを持ち続けられるように支援していきます。

～共に働く皆さんへ～

私たちは、看護師としてのキャリア形成を支援するために、国立病院機構として一貫した能力開発プログラム (ACTyナースVer.2) を構築しています。新人看護師として基礎的な能力の習得から専門性の発揮へと段階的にステップを踏み、専門・認定・特定看護師等の看護の専門性、看護管理、看護教育等、目指す看護に向け一歩ずつ踏み出していけるよう、教育理念・方針のもと支援しています。





看護単位の紹介

3F

A-3 病棟

呼吸器外科、形成外科

主に手術療法を中心とした外科病棟です。その他に化学療法、放射線療法など、治療を受ける患者さんの生活を支えられるよう看護を提供しています。

B-3 病棟

呼吸器内科

慢性呼吸器疾患では、退院後も自己管理して生活することが重要になります。安全に治療が行えるとともに、退院後の生活を整えられるよう看護しています。

C-3 病棟

循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科

緊急カテーテルや化学療法、糖尿病教育入院など求められる看護は多岐に渡ります。よりよい看護を提供するため、多職種と連携し安心・安全に治療が受けられるような看護を提供しています。

D-3 病棟

消化器内科、血液内科

がん患者さんの入院が多く、内視鏡治療や化学療法、放射線療法を行っています。患者さんへ分かりやすい説明や苦痛を最小限に安心して治療を受けられるよう副作用の予防に努めながら看護を行っています。

2F

手術室

内視鏡下手術に加え手術支援ロボット（ダヴィンチ）を中心に低侵襲手術を行っています。チーム一丸となり術前から術中、術後とシームレスな看護を提供しています。

ICU A-2 病棟

ICU / 外科（消化器外科、乳腺外科）

急性期～回復期の看護を行い、中でもストマ造設患者さんのセルフケア自立に向け術前～術後、退院後と継続した看護を行っています。ICUはハイリスクな術後患者さん、敗血症や重症外傷等の患者さんを受け入れています。

D-2 病棟

緩和ケア病棟

患者さんの一瞬の笑顔や穏やかな時間を求めて、自分たちにできることを一緒に考えています。また在宅ケアチームの一員として地域と連携したケアを目指しています。

1F

外来

24 診療科

化学療法室、内視鏡検査室、放射線治療室、血管造影室、救急外来、看護専門外来を備え、それぞれの専門性を活かし通院治療をサポートしています。地域医療連携室や病棟、他職種と連携を図り、患者さんが安心して療養出来るように支援しています。

A-1 病棟

整形外科、泌尿器科、眼科

手術療法、化学療法、放射線治療を受ける患者さんの看護を中心に、急性期から回復期までの患者さんの看護を実践しています。他職種と協働し患者さん中心のチーム医療の推進に取り組んでいます。

HCU C-1 病棟

HCU / 呼吸器内科ほか

気管支鏡検査、薬物療法、放射線療法を受ける患者さんが多く入院しています。HCUは呼吸状態が悪化した緊急入院の患者さんが多く、異常の早期発見・合併症予防に努め、また不安のサポートもしています。

※全病棟 二交替 一般病棟 7:1 ICU 2:1 HCU 4:1



教育理念

病院・看護部の理念に基づき、倫理観に基づいた豊かな人間性と社会性を備え、信頼される質の高い看護サービスができる看護師を育成します。
また、専門職業人として自己のキャリア開発ができる看護師を育成します。

教育方針

- 1 人の尊厳及び権利を尊重し、自ら看護実践能力の研鑽ができる人材の育成
- 2 変革する医療を取り巻く社会に対応するための病院の経営ニーズを理解し行動できる人材の育成
- 3 看護の専門家としての科学性、倫理観、創造性に基づくケア技術の提供ができ、患者に寄り添うことができる感性をもつ人材の育成

教育担当看護師長からのメッセージ

教育担当看護師長 橋本 瑞帆

当院では、国立病院機構共通のキャリアラダーシステムである看護職能力開発プログラム（ACTyナースVer.2）に応じて、看護師ひとりひとりの看護実践能力の向上と、人間性を育成することを目指して研修を行っています。新人研修では、看護専門職としての自覚を育むことや、看護実践に必要な基本的な知識や技術の習得、看護倫理を深めるためにリフレクションを実施しています。毎月研修で集合することで同期とのつながりを持ちお互いに支え合える関係性を構築する機会としています。また、認定看護師や他職種の方から講義をしていただく機会もあり、最新の知見に触れたり技術を教わることで、翌日から看護実践にすぐに活かせるように工夫しています。病棟では、プリセプター・教育担当者・教育委員など、多くの先輩が関わり、個人に応じたスピードで成長できるように支援しています。



教育担当者からのメッセージ

OP室 村岡 綾



新人看護師は慣れない環境の中で不安と緊張を抱え働いています。新人看護師が相談しやすい雰囲気をつくり、共に看護を振り返りながら自信を持って看護が実践できるようにチーム全体でサポートしています。患者さんへ安全な医療の提供と共に患者さんの思いに寄りそったあたたかな看護が実践できるよう共に成長していきましょう。

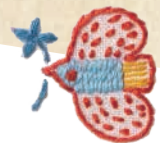
先輩看護師からのメッセージ

D-3病棟 稲本 朱音



私の勤務する病棟は、消化器内科・血液内科で、化学療法や内視鏡治療が多い病棟です。患者さんが安心して治療を受けられるように日々看護を行っています。覚えることがたくさんあるので、新人看護師は不安に思うことも多いかもしれませんが、その都度先輩看護師が傍で支援していきます。看護師だけでなく多職種ともコミュニケーションを図りながら、チーム全体で統一したケアを提供できるように取り組んでいるので、安心してください。

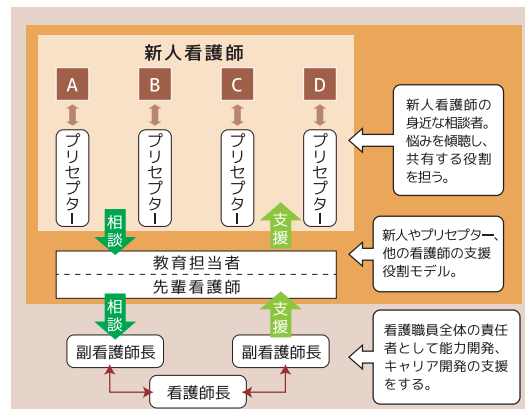




新人看護師

プリセプター・教育担当者を中心に、ひとり1人の看護の体験をサポートしながら成長を支えます

新人教育支援体制



● BLS 研修



● 採血演習 (6月)



● リフレッシュ研修 (ボーリング大会、蒲鉾作り) (9月)



● ME 機器演習 (1月)



プリセプター A-2病棟 北川 桃花

プリセプターとして、新人看護師の気持ちに寄り添い困った事があればプリセプティとともに解決策を見いだすことのできる立場となれるように日々関わってまいります。

3月

● リフレクション研修『その人らしさを支える看護とは』発表 (2月)



2月

1月

12月

11月

10月

9月

8月

7月

6月

5月

4月

● メンバーシップ研修 (5月)



● フィジカルアセスメント (10月)



新人看護師 集合研修

- 職業倫理・専門職業人としてのマナー・目標管理・時間管理
- 健康管理・教育体制・看護記録・医療安全・感染防止
- 看護技術研修 (移乗動作・ポジショニング・療養環境)
- 高齢者看護
- IV ナース(レベルI): 静脈持続点滴の管理
- メンタルヘルス・看護のリフレクション

新人看護師

A-1病棟 黒田 夏末

術前・術後の関わりを通して回復していく姿をみることができ、日々看護のやりがいを感じています。術後は痛みや環境・生活の変化から不安を感じられる方が多いですが、日々の看護を通して、患者さんの痛みや不安を取り除き回復していけるようなサポートができるよう頑張ります。研修では、看護技術の習得や看護の振り返りを行い、病棟での看護実践に活かすことができます。

教育担当者 A-2病棟 黒木 萌

教育担当者として新人看護師やその相談役であるプリセプターを支援する役割を担っています。入職直後は慣れない環境で不安も大きいと思いますが、教育担当者をはじめとして病棟のスタッフ全員が新人看護師をサポートできる環境を整えています。患者さんの思いに寄り添った看護を実践できるように一緒に成長していきましょう。



チーム医療

専門知識・技術を生かしたチーム医療で連携の輪を広げていきます



退院調整看護師
森田 弓子

患者さんやご家族に寄り添い、できる限り希望に添えるような療養先を選定できるよう退院調整を行っています。また、患者さんの情報や支援を地域へスムーズにつなぐことができるよう、連携の強化にも取り組んでいます。



がん性疼痛看護認定看護師
永瀨 加世子

患者さんご家族に寄り添う緩和ケアチームとして活動しています。痛みなど身体症状への医療的アプローチだけでなく、体と心と暮らしを支え、その人らしく過ごすことができるようお手伝いしています。



がん放射線療法看護認定看護師
池淵 かおり

医師や放射線技師とチームを組み、患者さんの生活の質を保ちながら最善の医療が提供できるよう取り組んでいます。看護師は、副作用を最小限に抑えるケアを患者さん自身が実践できるよう生活を支援しています。



緩和ケア
認定看護師
銅山 慶子
神田 智香

患者さん・ご家族との関わりの中で体験する苦痛や症状を捉え、看護実践やカンファレンスを通じてQOLの改善に向けたケア方法を多職種と協力し、看護が実践できるように努めています。



緩和ケア認定看護師 橋本 みさ子
(緩和ケアセンタージェネラルマネージャー)

患者さんやご家族に、治療法の決定や療養場所の選択等、生きる希望を支えるケアを提供できるように支援しています。また、切れ目ない緩和ケアの提供が円滑に進むように院内外の調整も対応しています。



感染管理認定看護師 三木 久子 駒田 美和

術後の早期回復のためには創(手術の傷)感染や肺炎などの予防は重要です。また、抗がん剤治療や放射線治療により免疫力の低下した患者さんが治療を継続して受けられるためにも感染予防は重要なため、病院に関わる人全てが適切な感染対策の実践ができる様に取り組んでいます。



認知症看護認定看護師 小岩あすか

認知症看護は、「看護の原点」と言われています。患者さんの継続している暮らしや、その人らしさを大切にしながら看護に取り入れ、患者さんを取り巻く環境を整え、当院での治療を安心して受けて頂けるよう支援しています。また、病棟スタッフと共に、認知症看護について語り合うことを大切にしています。



特定行為研修修了者 志水 リカ

特定行為を実施すれば患者さんの状態に応じたタイムリーな医療・看護を提供できます。患者さんの重症化を防げるようチームで関わっていききたいと思っています。



慢性呼吸器疾患看護認定看護師
藤田 今恵

呼吸ケアサポートチームのメンバーとして多職種と協働しながら患者さんのラウンドを行っています。認定看護師として病気と共に生活をする患者さんの声に耳を傾け、主に息苦しさを軽減するための支援を行っています。



臨床研究
コーディネーター
森下原 久美子

「治験は次世代への贈り物」であり、国内の医療の質を上げるため当院ではチームで取り組んでいます。CRCは被験者さんの安全を守りながら治験が適切に進むよう支援し、全体をコーディネートする役割を担っています。



皮膚・排泄ケア・認定看護師
南 奈保子

がん治療をされている患者さんも多く、抗がん剤による副作用で皮膚障害を発症される方もおられます。がんに関わる認定看護師が複数在籍しているため、お互いの知識・技術を持ち寄り、患者さんへより苦痛のないケアが提供できるよう努めています。



がん化学療法看護認定看護師
山本 佳奈

がん化学療法を受ける入院患者さんが安全に治療を受けられるように適切な投与管理や副作用症状に対するケアを行っています。また、退院後の生活を見据え、生活に合わせたセルフケアの方法について共に考え、退院後も安心して療養生活を送ることができるように支援しています。





キャリアアップ/ワークライフバランス

安心して働き続けられる環境とキャリアアップ できる機会を提供します

キャリアアップ

キャリアアップが充実

藤田 今恵



当院に看護師として就職後、呼吸器疾患の患者さんの在宅支援をしたいと思い、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の資格を取得しました。その後、当院の特定行為研修を受講し、あらかじめ医師が定めた手順書に準じて、主に呼吸器疾患患者さんの看護介入につなげています。まだまだ未熟者ですが、患者さんのより良い生活、笑顔につなげられるよう、多職種と協働しながら活動しています。

異動後もキャリアアップを継続 野田 翔



私は、神戸医療センターから移動してきました。新しい職場ではたらくことに不安もありましたが、スタッフの皆さんのサポートのおかげで、毎日やりがいを感じながら働いています。国立病院機構では統一された教育プログラムがあり、これまでの経験を活かしながら学びを深められています。

ワークライフバランス

充実の制度で、家族の絆が深まる

宗接 将大



私は二児の子供を育てていますが、二人とも妻の出産時に、3週間程度の休暇を取得しました。育児休業だけで無く、妻の出産に伴う休暇や、育児参加のための休暇など、男性が育児参加しやすい制度が充実しています。新生児期の成長が著しい時期を、家族で過ごすことで、妻と共に喜びや苦労を共有し、家族の絆が深まりました。また休暇中に育児が加わった生活リズムを整えることで安心して、仕事に復帰することが出来たため、メリハリのある生活を送ることが出来ています。

家庭と育児を両立

泉 晶子

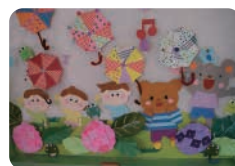


当院は育児支援制度が整っており、一人目の職場復帰のときから育児支援制度を利用しています。現在3人の子供を育てながら病棟で働いています。病棟のスタッフの支えや一緒に働くママナースの姿を励みに日々楽しく仕事できています。



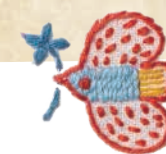
●しらさぎ保育所

病院の敷地内にあり、小さなお子さんがある方も安心して預けることができます。8：00～21：00まで預けることができます。



●病児保育室

経験豊かな専属看護師が在席しているので、勤務に専念できる環境です。



呼吸器疾患看護のスペシャリストを目指そう

特定行為研修

2022年より「特定行為研修指定研修機関」として院内で働きながら研修を受けることができます。

当院で研修可能な特定行為区分

概要（特定行為）

呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	<ul style="list-style-type: none"> ●侵襲的陽圧換気の設定の変更 ●非侵襲的陽圧換気の設定の変更 	<ul style="list-style-type: none"> ●人工呼吸管理が行われている患者さんへの鎮静薬の投与量の調整 ●人工呼吸器からの離脱
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	●末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	
動脈血液ガス分析関連	<ul style="list-style-type: none"> ●直接動脈穿刺法による採血 ●橈骨動脈ラインの確保 	



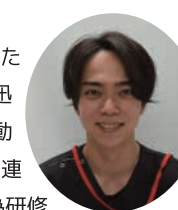
eラーニングで学習



指導者とともに演習

特定看護師：石井 宏一

ICUと救急外来で動脈穿刺を中心とした特定行為を行いながら、患者さんが迅速に安全な治療が受けられるよう活動しています。今後も、医師や多職種と連携しながら患者さんのために特定行為研修で学んだ知識と技術を活用していきたいと思っています。



レスピナース（院内認定）

スタンダードコース

呼吸器疾患の基礎知識と観察技術を学び、疾患・治療について理解を深めます

レベルアップコース

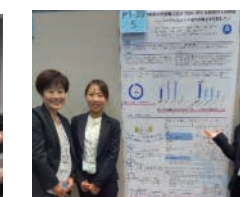
人工呼吸器装着患者の適切な管理と看護ケアを実践し、呼吸器系看護についてリーダー的役割を果たせる看護師を育成します

レスピナース 畑 美咲

院内レスピナースとして、RSTチームの支援のもと、医師と連携し、呼吸器外科手術患者の術後合併症リスク評価シートを作成しました。この評価シートは術前から使用しており、入院時より術後合併症の予防に積極的に関与しています。また、院内スタッフ向けの勉強会を開催したり、RSTラウンドにも参加することで、日々知識の向上に努めています。



後輩とレントゲンを見ながらアセスメント



レスピナースの活動を学会発表



RST（呼吸器サポートチーム）に参加して多職種でケアの検討

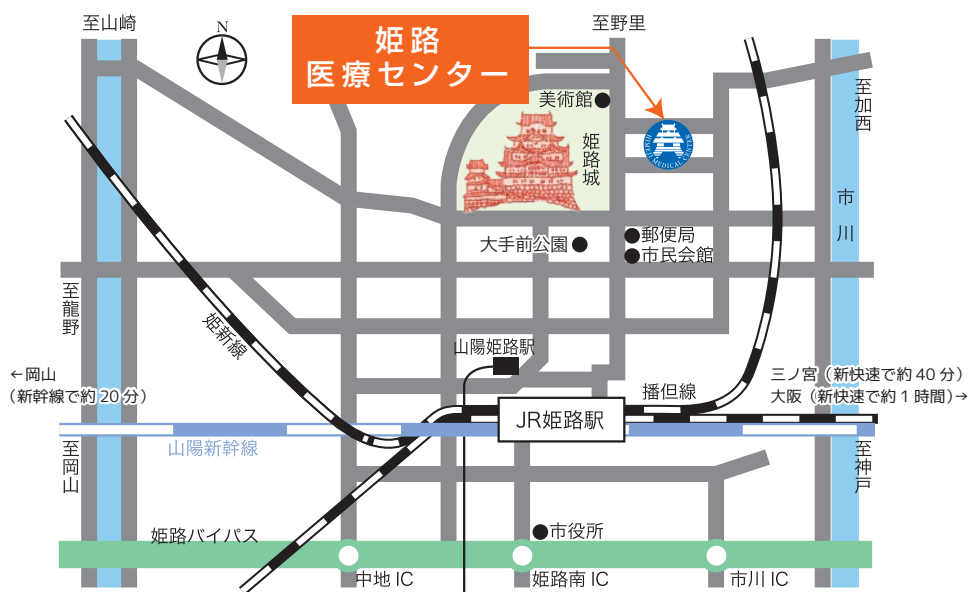
交通アクセス



- 電車
山陽新幹線・JR「姫路駅」または山陽電鉄「姫路駅」下車、徒歩約20分
または路線バスにて約5分（1.6km）「医療センター前」下車
- 自動車
→ 国道2号線から北へ0.5km
→ 中国自動車道「福崎インター」から播但連絡道を南へ15km
→ 山陽自動車道「姫路東インター」から国道372号線を西へ5km

ロケーション

当センターは世界遺産姫路城に隣接し、交通至便な姫路市の中心にあります。また神戸・大阪・京都にもアクセスが良く、休日のお出かけなどプライベートも充実した日々を過ごせます。



姫路医療センターはこちら



インターンシップはこちら



独立行政法人国立病院機構

姫路医療センター

〒670-8520 兵庫県姫路市本町68番地

TEL: 079-225-3211 <https://himeji.hosp.go.jp>